

ウイルス対策

マスク過信は禁物

国民センター 効果小さい商品も

「ウイルス対策」などと表記して販売されているマスク15商品の性能を国民生活センターがテストしたところ、ウイルスを防ぐ十分な効果を確認できたのは3商品にとどまったことが18日、分かった。同センターは業界

団体に対し、誤解を招く表示や製品の改善を要望した。同センターは今年8、10月、ウイルス対策をうたったマスク15商品を通じて販売やコンビニなどで購入。マスクの性能を比較する基準がないため、粉

じんマスクに定められた公的な認証基準を準用しフィルターによる微粒子の捕集効率を調べた。

その結果、新型インフルエンザ患者に接する医

師らに勧められる「捕集

効率95%以上」だったの

は3商品。4商品は50%

に満たなかった。

また男女10人のモニタ

ーが実際に使用した試験

では、顔とマスクの間でできたすき間で、平均40%超の微粒子がマスク内に漏れていた。

今年9月までの半年間

で全国の消費生活センタ

ーに寄せられたマスクに

関する相談は598件に

上り、既に2008年度

(80件)の7倍超に急増

している。2割弱(110件)は「信用できるか」

などと性能や機能に関する相談だった。

国民生活センターは

「マスクはできるだけす

き間なく着用できるサイ

ズや形を選ぶことが重

要。効果を過信せず、う

がいや手洗いなどの予防

法を徹底してほしい」と

している。

休校など1万7210施設 新型インフル

厚生労働省は18日、イ

ンフルエンザが原因で14

日までの1週間に休校や

学年・学級閉鎖などの措

置を取った小中学校や高

校、保育所、幼稚園など

は1万7210施設だっ

たと発表した。ほとんど

が新型インフルエンザと

みられる。

前週(1万5149施

設)は祝日の影響で減少

したが、再び増加し、過

去最高の前々週(1万7

822施設)とほぼ同レ

ベルとなった。同省の中

嶋建介感染症情報管理室

長は「休校数はピークで

はないかという感じもあ

る」としながら、「この

時期に流行した経験はな

く、(通常流行する)寒

くなる時期を前に判断は

難しい」としている。

17日までの1週間の新

たな入院患者数は724

人(速報値)だった。